

鹿児島県立 隼人工業高等学校

団体の紹介・活動の目的

隼人工業高校は、インテリア・電子機械・情報技術の3学科を設置する専門高校で、現在447人の生徒が学んでいます。

本校は、工業高校の特性を生かし、地域の課題を「ものづくり」で解決する取組を行っています。生徒が、学校での学びが身近な社会で役立つことを実感するとともに、地域をより深く知り、地域に感謝し、将来地域を担う人材となることを目指しています。

活動の内容

私たちは、地域の小中学校や伝統行事の実行委員会、福祉関係のNPO法人等と連携し、「ものづくり」を通じた地域貢献活動を行っています。

生徒が日頃学んでいる木工技術を生かしたテーブルや椅子の製作・補修、デザイン技術を生かしたポスターや看板の制作、機械加工技術を生かしたフラワースタンドや朝礼台の製作、電子技術を生かした表示パネルの製作等を行い、地域の課題解決と学校教育の充実を図っています。

連携・協力している団体など

霧島市内の小中学校（宮内小学校、富隈小学校、隼人中学校、牧之原中学校）
第一工業大学、イオン国分隼人店、きりしま隼人浜下り実行委員会
初午祭実行委員会、NPO 法人 Joy ステーションなど

①



「フラワースタンドの製作」

宮内小学校の卒業生でチームを組んで製作したフラワースタンドが、正門前に置かれています。

②



「リヤカーの製作」

隼人中学校の卒業生でチームを組んで、学年ごとの体の大きさに合ったリヤカーを製作し、寄贈しました。

③



「季節ごとの看板の製作」

約10万人以上の観客で賑わう初午祭のうどんバザーで使うテーブルを製作しました。

④



「初午祭での製作物等の展示」

初午祭で製作物等を展示し、地域貢献の取組を紹介しました。